

(1)生徒の体力の現状

○男子では、全国平均を大きく上回ったものが、反復横跳び、シャトルラン、50m走、ハンドボール投げの4種目だった。(2年生)
○女子では、全国平均を大きく上回ったものが、握力、反復横跳び、50m走の3種目だった。(2年生)
○男子の意識調査からは、運動が好き、先生の個別指導、話し合いの活動、体力向上の目標を立てているの項目で全国平均を大きく上回ったことがわかる。
○女子の意識調査からは、運動が好き、先生の個別指導、失敗を恐れずに挑戦するの項目で全国平均を大きく上回ったことがわかる。

- 男子、女子ともに、上体起こしの1種目のみ全国平均を下回っている。(2年生)
- 意識調査では男子、女子ともに全国平均を下回ったものが、振り返りの活動、助け合う活動を行っているの項目だった。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

○授業ははじめのランニング、体力づくりの活動(腕立て伏せ、馬跳び)を継続して実施できた。
○長距離走の单元では、学年上位を発表したり、ペース走をおこなったりして記録の向上だけではなく、いかに気持ちよく走れるかを考える場面などを設定し、長距離が嫌いな生徒も走る意欲を高めることができた。
○それぞれの種目でペア学習、グループ学習を多く取り入れ、生徒がお互いに評価したり、教えあいをすることで、個々が工夫するような場面が増えた。
○授業はじめに目標を設定することで、運動が苦手な生徒も目標達成に向けて意欲的に取り組む場面が増えた。

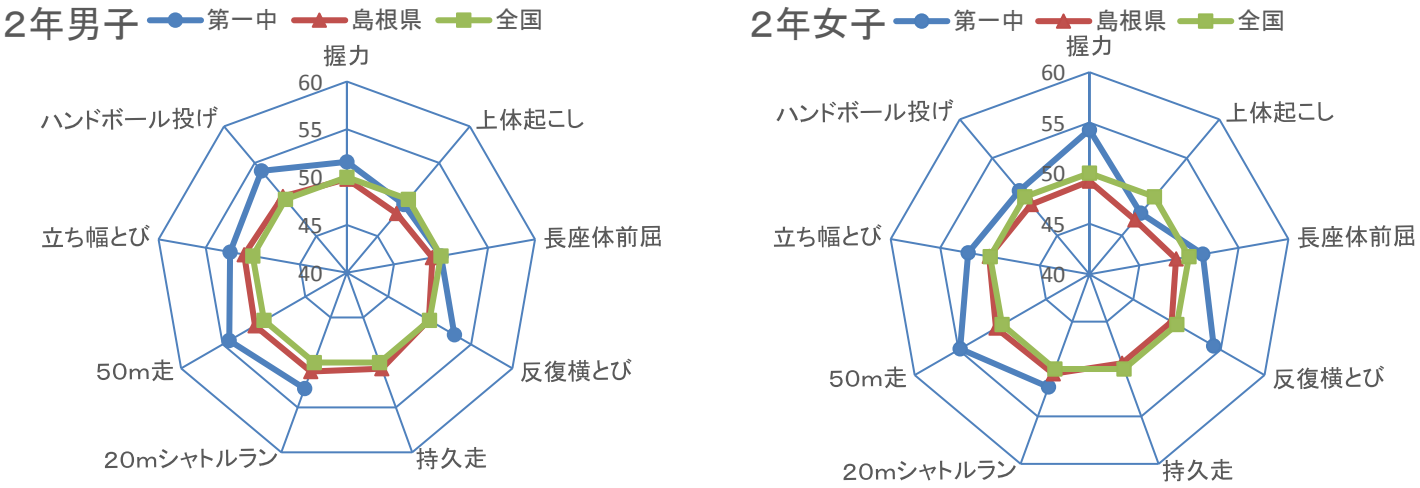
- 授業はじめのランニングや体力づくりのためのトレーニングは継続できたが、マンネリ化してしまうところがあり情性的になった部分もあった。
- 振り返りの時間を取れないことが多かったので、運動量を確保しつつ、その時間がとれる工夫を行っている。
- 雨天時など、場所・人数などの問題もあり、必要な運動量の確保ができない授業もあり、今後の課題である。

(3)令和2年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・長距離走では引き続き、ペース走などを取り入れ、呼吸法やフォームにもフォーカスし、グループで考えるなどの場面を設定することで、生徒の積極的な授業参加を促したい。
 - ・授業はじめのトレーニングには、本校の弱かった筋持久力を高めることのできるような動きを取り入れるようにする。
 - ・体力診断テストの項目を全学年3つ以上全国平均を上回るようにする。
 - ・授業の中で、めあての提示、振り返りを毎時間行うようにする。
 - ・引き続きグループ学習、ペア学習の充実を図る。
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・学校便りや学年便りによる状況報告。
 - ・PTA保体部による研修(体幹づくり、食育など)との連携。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・給食時の放送での啓発。
 - ・保健の授業内容の充実。
 - ・学級や学年集会等での啓発。

調査実施者数(人) 1年(男子135・女子141) 2年(男子94・女子130) 3年(男子137・女子150)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

